

令和7年度 森林環境譲与税の使途

令和8年4月

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第34条3項に基づき、下記のとおり公表します。

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績
		うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）		
森林整備	平地林保全整備委託	7,048		0	市民の方々が多く利用する神宮の森の遊歩道において安全性の確保のための整備、道路に面する箇所が大きくせり出した樹木の剪定を行った。	・遊歩道の落ち葉の除去（900㎡） ・道路に面する箇所におけるせり出しのある樹木の剪定（340㎡・22.21t）
森林整備	緩衝帯整備委託	495		495	鹿嶋市所管の森林において、鳥獣被害防止対策を兼ねた緩衝帯の整備を実施した。	緩衝帯の除草による整備（1,840.8㎡）
森林整備	緩衝帯整備工事	462		462	整備された過去がある平地林が荒れた状態となっていたことで住民による通報を受け、整備を実施。	緩衝帯整備による道路安全の確保及び景観の向上（4,402㎡）
普及啓発	森林啓発普及事業	1,375		1,375	「海と森の体験ツアー」として、市内の小学4～6年生を対象に夏休みに1日鹿島灘漁業協同組合や茨城県栽培漁業センターへ訪れ、鹿嶋市が持つ海の魅力について再認識してもらい、また秋にも1日石岡市へ訪れて森林での体験を通じて海と森はつながっていることを学ぶ場として2日に渡って開催した。	乗船体験や間伐体験など参加した小学生たちにとって、貴重な夏と秋の体験となり、アンケートにおいてもツアー全体の満足度が高い回答が得られた。